

愛媛教区報

発行所 〒790-0852
天理教愛媛教務支庁
松山市石手5丁目8-27
TEL 089-921-7372
FAX 089-932-3521

表統領先生を囲む会

10月1日、中田善晃表統領が、愛媛教区へ来庁されました。

当日は、10時30分より教区巡回の講話。その後、東・中・南予のプロック別に支部長との懇談会、お昼よりの懇親会、また前日には主事との懇談会と、表統領先生の思いを親しくお聞かせ頂きました。教区役職員一同にとつて、有意義な会となり、今後の歩みの糧となりました。



【教区巡回(要旨)】

教区・支部、地域活動の上に責任をお持ちくださっていることへお礼申し上げ、この機会に今の道の歩み方の上から思いますことをお話ししたい。

私は年祭後、次への歩みにあたり3つのことについてお話しています。

一つは御園報し、これが一番申したいこと。あわせておたすけの実践、人材の育成。

まず、御園報しという基本中の基本に今一度、戻らなければならぬと思う。そこからおたすけの実践・人材の育成の実を挙げていくことにつなげていきたい。

私は順序ということが大事だと思う。物事が成っていかないとこのとは、順番が間違っていたら物事は進んでいかない。この3つのことは何も新しいことではない。しかし、

次の旬に向かってもう一回やり直す必要があるのではないかと思い、このことを申し上げている。

私たちは、今・この時代に・この場所において、それぞれの持ち場でこの道を歩ませて頂いている。時代や教勢は、今、私たちに与えられた状況です。「おまへはこゝだ」と、神様に言われていることを全うする。

教勢の低下が叫ばれている。そのことを否定しませんが、それを殊更に言って心を倒していることが問題ではないか。大事なことは、神様から今、ここに私たちは配置させて頂いているわけですから、ここから考えればいい。減ってきたとかそういうことを無視するのではなく検証しながら、前に進むことを考えて、一つ一つ積み重ねていく。

教会の以前の姿や周囲のことと比較して自分を鼓舞していくのならいいが、ダメな理由を挙げたり、落ち込むのなら比較しないほうがいい。今の状況をセロとして、セロから始めていくと考えていけばいい。その上で今までの先輩たちの経験を生かしてやっていく。そういう面では私

たちは経験値は持っている。教会設立の当時は経験値など何もなかった。その経験値を生かして歩めばいい。

どんな教会を目指していくのかというのを考えながら、私が教会をしている間に、どれだけのことができるのか、次の人にどのように教会を渡していくのか。そういう思いをもって日々を過ごす。人を育てるということと共にないでいくということを考えていく。

天理教の教会、世間から目に見えるのは地域。世間から系統は見えませんが、系統は私たちの力の元、働き場は地域。私たちの相手するのは世の中。私たちは外に向って道を広めていくことが命題ですから、外に對していこうと思えば、外からどう見られているのか考えることが必要。それは系統も同じ。地域活動であれ系統活動であれ単位は教会。教会が拠点ですから、今申したような考え方は必要。

それと共に、これからは47教区一律の考えは出来ないうと思つ。全教と名のつくものは別として、本部・各部・各会の声を上手に取り上げ、

現場で生かして頂きたい。地域に応じた動き方に切り替って頂きたい。切り替えていくのは時間がかかるかもしれないが、だんだんと各地域で特色を生かした主体的に動ける力を得られるよう心がけて頂きたい。

御恩報じについても少し話したい。おさしに、

日を重ね、恩を重ねてもらう。（明治31・9・30）

人間同士なら恩返しという。人に対しての恩返しは、受けた恩に対して同等のお返しをするのが常であり、多く返すと気を遣われますし、足りないかと不足させます。これが人と人の関係。

私たちは、神様に頂戴している御恩に対して同等の恩を返すということとは到底できない。頂いているものが大きすぎますから、私たちの力で返せるようなものではない。ですから日々の御恩報じ、これは実践でなければならぬ。日々の御恩報じの実践・継続、これができているか考えてほしい。神様は小さな積み重ねの実行を大きくお受け取りくださる。それは継続が一番難しいから。日々

の御恩報じの実践からさせていたただくことを今一度私たちは基本に置いて、その上で次のことを考えていく。そこであわせて申しておりますのが、おたすけの実践です。私たちの教えはたすけ一条の教え、たすけ一条の道。

おたすけをすれば、おつとめへの思いや力が込もっている。おたすけの実践がないと、いくらおつとめが大事だといっても、心の込もりようがない。何よりおすけである以上、ご守護、つまりたすけの実を頂かなければならない。たすけの実を求めていくということをもっともっと突き詰めていかなければならない。おたすけをする人を二人でも増やせるように、できる人はもっと実を求めていく。これは教会活動が好循環していくスタート地点だと思う。

もう一点は人材育成。これもずっと続けていかなければならない。教会というのは設立の時から末代と言われる。末代というのは永遠でなければならぬ、続けていかなければならない。同時に引き継いでいかなければならない。漠然とではなく、こ

の教えを継いでいくということを思ってもらわねばならない。将来のことを考えながら積み重ねていくことが大事。その代その代「お前たちはここ」というところを神様から言われている訳ですから。

また、人材育成と言つと、若い人の育成が思い浮かびますし一番大事なことです。が、働き盛りの年代の人たちの人材育成が欠けている。そういう人たちへの働きかけをもっとしていかなければならない。この年代の人が教会で動くとき、抜けると教会としても弱い。また良いお手本になつてほしい世代である。

最初に申しましたが、順序ということが最近あまり言われなくなった。教祖のひながたも順序よくお聞かせいただいた。一番大事なおつとめ、元の理とを教えられたのは50年のひながたで最後の方です。大事だから最初から教えられたのではありません。笑われそしられてから、だんだんと十分ことが分かるように少しずつ教えられ、最後に厳しく大事なところをお仕込み下された。

私たちの教会活動・信仰活動も順

序が大事だと思う。これまで百数十年と積み重ねたものの上に立って、今の現状を把握して、その上に順序よく積み重ねていくことによって、私たちの次の人たちにもきちんとバトンを渡すことが出来るのではないかと思います。

私たちは教祖から「おまえはここだ」と言われたことを自信を持って、そこから進めさせていただくことをお互いの共通の思いとして歩むことが、今の時点での大事な意識の持ち方だと思えます。

どうか一人でも多くの人にこの道が広がって、たすかしてもらえよう心に揃えてお通り頂きたい。



学 生 会

道の学生ひのきしんデー

開催

9月17日、道の学生ひのきしんデーに参加させて頂きました。学生6名、学担6名が参加しました。

今回は、五色浜で清掃のひのきしんをしました。みんなと海岸をきれいにすることができて、とても楽しかったです。また、みんなと話したり遊んだりすることで、楽しい良い思い出になりました。

この一日で学んだ、ひのきしんをする事の楽しさを忘れずに、これからも生活していきたいと思えます。

学生会員 上山 泰輝



海岸清掃ひのきしんの様子

厚 生 部

松山刑務所 秋分祭

9月22日、松山刑務所の秋分祭を教区内の教会長さん、奥様、よふばく、総勢18名の教友の参加協力を得てつとめさせて頂き、誠に有難うございました。皆様にはお忙しい中での協力に感謝致しております。

たくさんさんの宗教の中から天理教の教誨が必要とされている事を思つて、親神様、教祖のお計らいと、先輩諸先生方の丹精の積み重ねに只々頭の下がる思いであります。次代に繋がってもらうよう、精一杯勤めて参りたいと存じます。

今回は男性13名、女性5名でした。女性の方々にもごそつて参加して下さいよう、お願い致します。

菅原 晋次

9月28・29・30日

【各支部の活動の様子】

立教181年 全教一斉にをいがけデー

陽気ぐらしの教えをアピール



道前支部



今治支部



西宇和支部



新居浜支部



松山西支部



松山北支部



松山東支部



【松山南支部】
大街道献血ルーム
呼び込みひのきしん

次の方がお出直しされました。
慎んで哀悼の意を表し、その労を
お裾い申し上げます。
河上 泰蔵さん 享年77才
富盛分教会会長配偶者（高知）
出直日 立教181年9月27日

計 報

（10月お運び分）
和香伊予分教会（高知）
▽任命願 畑田昇氏出直しの為
畑田孝則氏へ変更

諸 願 書 受 理

11月添乗担当者 釣井 政輝
090 1172 3626
高速バス専用携帯電話
080 2991 7372

天理直行高速バス

教区の予定「11月」

1日 松山南支部 例会
2日 松山東支部 例会
4日 松山北支部 例会
7日 教区祭
12日 教区報編集会議
17日 女子青年例会
23日 教区輸送会議
30日 少年会おとめ総会
主事会・常議会
全体会議
いちれつ会面接【高校】

一れつ会寄付金報告

宇摩支部 1件 10月10日現在
道前支部 3件 8、900円
今治支部 9件 3、000円
松山北支部 1件 10、500円
松山南支部 3件 2、500円
松山西支部 3件 7、000円
松山東支部 4件 9、000円
喜多支部 1件 2、000円
東宇和支部 2件 4、000円

愛媛教区天理時報普及推進大会

- 対象 管内教会長、主事、支部長、
支部社友、支部布教長、
手配り責任者、拠点長、
手配りひのきしん者
- 日時 12月1日（土）10時～12時
- 場所 愛媛教務支庁
- 講師 西浦忠一先生
（内統領室長・道友社前社長）
- プログラム

9:30	受付
10:00	開講挨拶（愛媛教区長）
10:10	DVD上映
10:15	講演（西浦忠一先生）
11:15	体験発表
11:45	閉講挨拶（教区代表社友）
12:00	解散

「愛媛教区布教者の会」会員募集

【活動内容】会員相互の情報共有の場として
会報を発行する

- ①会員は近況報告を教務支庁宛に提出
790-0852 松山市石手5丁目8-27
FAX 089-932-3521

メール mail@t-ehime.sakura.ne.jp

- ②事務局が会報（A3表裏）に編集し、印刷
③会員へ郵送

【会費】なし

【入会】最初の近況報告をもって入会とする。

※必要記入事項 氏名・住所・支部・
所属教会・日付・原稿（その日の出来事や
思ったこと）

